

(第2号様式)

具商第2398号
令和8年2月26日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立具志川商業高等学校
校長 神谷和彦
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月16日	場所	具志川商業高等学校小会議室	出席状況	評議員4名(1名委任)
第2回	日時	令和7年12月23日	場所	具志川商業高等学校小会議室	出席状況	評議員5名
第3回	日時	令和8年2月20日	場所	具志川商業高等学校小会議室	出席状況	評議員4名(1名委任)

2 学校評議員に求めた事項

下記、学校運営及び生徒支援状況について、報告及び指導助言をもらう。
第1回(教育目標、学校経営方針、1学期学事報告)について
第2回(各部指導・支援状況報告、2学期学事報告、教育DXの推進、働き方改革の推進)について
第3回(年間学事報告、学校評価結果報告)について

3 学校評議員の意見

- ・WB日課850の取り組みについて、8:50授業開始は生徒への影響(遅刻等)を懸念したが、前年度比で遅刻が減少している報告を受け、生徒の主体性の向上にも寄与していると実感した。
- ・勤怠(皆出席)等に関する価値観や概念について、時代とともに変化を感じている。これからも柔軟に変化できる学校であってほしい。
- ・「家族休暇」の実施状況等について知りたい。
- ・教育活動提携校との交流について知りたい。
- ・生徒を学校外へ出す多くの取り組みがあり評価できる。さらなる発展を期待したい。

4 学校運営に反映した事項

- ・WB日課850を中心とした「主体性を育てる取組推進」は、学校評価でも項目として設定し、その効果や成果を継続分析する。
- ・生徒勤怠については、遅刻のみならず欠課・欠席数も確認しながら、生徒の状態把握の指標として継続して注視していく。
- ・家族休暇制度等の試行もあり、学校での学びの在り方や価値観の転換へも積極的に対応していく
(「皆勤賞」等表彰内規の見直しや多様な学びの在り方「別室登校」規程等の再確認等を実施)
- ・前年度の国内留学派遣に加え、今年度は、提携先高校とのオンライン交流会や対面交流(県外連携校来校)を実施する等、双方向の連携へと頻度を上げ、発展させることができた。
- ・生徒の学校外での学びや活躍の場面として、授業における「商品開発」に関する市場での実売・流通、各スピーチコンテスト(九州大会・全国大会参加)等での活躍など、多方面での連携や生徒支援により、生徒の学校外での活躍の場を展開させている。

5 課題その他

- ・生徒一人ひとりへの一層の支援継続(教育相談、薬物乱用防止、進路支援、早期離職への対応等)
- ・保護者と学校、生徒と学校の意見交換等について一層の場面設定。
- ・令和6年度、令和7年度において新規で取り組んだ新制度や改変した学校運営の仕組分析や持続性の確立。